

# 一般質問 (要旨)

区民ネットワーク 中村 つねお

拓く会議員団 小枝 すみ子

公明党議員団 大串 ひろやす

自由民主党議員団 林 則行

**問** これからの区政運営に対する3つの質問

石川区長になってから千代田区役所は変わった。職員の区民対応の改善や費用対効果を重視した予算編成のほか、千代田市構想に見られるように自治権拡充を打ち出している。また、国保料金の引き下げや児童手当の拡充など、横並び行政を脱した独自の姿勢が見受けられる。このような石川区長の独自の区政運営に関し、次の3点について質問する。

1. 区の組織に事業部制を導入したが、従来からの課題である縦割り組織の弊害がなくなると思えない。行政組織としてどうカバーしていくのか。千代田市を実現するためには、大口納税者である企業のトップがその必要性を痛感すること、すなわち、企業に対する区の求心性を高めることが大切。今後企業に対してどう働きかけていくのか。地域社会に貢献している企業を社会的に評価するシステムが必要と考えるがどうか。

**答** 事業部制のもと成果主義等の導入により縦割りは従来よりも減少すると考えるが、縦割りにならないよう、政策的な部分は各部と横断的に議論、決定を行い、区政全体の統一性を堅持していく。また、各部の事業の取りまとめを民間の専門家に依頼すること等も今後積極的に検討していく。地域を構成する方々の理解と協力が必要と考え、企業に対し、制約された現在の23区の税制を理解してもらったための働きかけを今後も積極的に行う。企業の社会貢献は多様だが、結果的には貢献の実績が消費者の評価につながる時代であると考えており、順次進めていく。

**問** 子どもの健やかな成長のために

区の公共的スペースには子どもたちが手足を鍛えられる遊具が極めて少ない。遊びながら体力を身につけられる遊具の確保を幼児から中学生まで段階に分かれた性教育プログラムが必要と考えるが、現状は。また、教師の研修体制の強化を早急にすべき。

**答** 児童館等では体力アップにつながる遊具を用意しているが、今後工夫していく。学習指導要領に基づき、発達段階に応じた計画的に行っている。養護教諭を対象に実施したが、今後は教員研修を充実していく。

**問** 江戸開府400年を契機に

文化芸術基本計画に神田川・日本橋川の美化再生計画を位置付けては、総合建設企業等に景観を大切にすることを促すため、区で建物コンテストを開催しては。昨年12月、新丸ビルを丸ビルより約20メートルも高く建て替えると発表があった。区は400年の歴史を刻む江戸城正門前に、大きな建物の出現を見逃して良いのか。皇居は国民共有の文化的財産であり、それを預かる区は環境景観、文化を守る責任があると考えられる。

**答** 検討課題の一つと考える。景観の評価は主観的要素等があり、行政による建物コンテストを行う考えはない。丸の内地区の機能更新は区や東京にとっても必要なものと考えられる。美観地区ガイドプランで示された皇居を中心としたすり鉢状のスカイラインの考えに基づき、景観まちづくり審議会での意見も踏まえ、民公連携のもと取り組んでいる。

自由民主党議員団 小林 やすお

**問** アダルトPCゲーム看板の排除について

生活環境条例で全国的に知られている本区で、秋葉原はアダルト系PCゲームの看板やチラシなど、子どもに有害な情報がかんらんしている。また、この地域は小学校の通学路も多く、性犯罪や傷害事件につながる懸念がある。新年度予算では、青少年健全育成対策として、青少年モニター制度やPTA巡回パトロールなどが新規計上されているが、早急に具体的な取り組みを進めるべきではないか。

**答** 青少年対策地区委員が中心となって、風俗産業の刺激的なポスターや看板などの自粛を事業者に働きかけるとともに、小・中学校PTA巡回パトロールの実施に向けた取り組みをする。

**問** 災害時における情報収集・提供体制について

災害情報の収集・提供体制の整備は、区政の大きな課題である。現在、本区は防災行政無線を唯一の手段としているが、区民が地域の被災状況等をいち早く知るためにはFM放送やインターネットなどの多様な機能を複合的に活用していく必要がある。区は、新庁舎の防災センターの整備検討のなかで、収集・提供体制をどう整備していくのか。

**答** 情報の収集と提供や伝達は警察や消防、民間放送等の関係機関から情報を迅速かつ正確に得ることが重要であり、デジタル化の進展やIT化の動向を見きわめつつ、情報ネットワークを構築していくことが必要と考えている。

**問** 住民自治の実現を目指して

憲法に保障された地方自治とは、団体自治と住民自治の確立にあるとされる。平成12年の地方分権改革により機関委任事務は廃止され、自治体の国や都道府県との関係における自主・自立という団体自治は大きく前進した。しかし、もう一方の住民自治の確立については手つかずとなり、それぞれの自治体と住民に委ねられた。そこで質問する。

「自治の確立」の意味するところは何か。住民自治の確立に向け、現在までの到達点と今後の課題は何か。お知らせとしての広報情報だけでなく政策決定前の政策情報も提供すべき。住民自治の準則である「自治基本条例」を策定すべきではないか。

自由民主党議員団 林 則行

**問** 区役所に「もくじ」をつくりませんか

ネット社会と言われる現代では、ホームページによる情報提供も区の重要な顔となっている。「広報千代田」などの紙媒体では、サービスを探すためにそれを保管しておかなければならないが、その点ホームページは、見たいときにいつでも利用できる媒体である。仕事などで区役所等に来られない方にも行政サービスの案内ができるのは、24時間対応しているホームページだけである。しかし、掲載している情報が多くなり、利用者を使いやすいシステムにしていくには、検索機能を改善すべきと考える。そこで、区のホームページのアクセス数はどのくらいか。現在の検索システムは、いつ頃つくられたもので更新状況はどうか。利用者が見やすく利用し



区立九段小学校



区立九段小学校